

〔科目名〕 <p style="text-align: center;">教育行政論</p>	〔単位数〕 <p style="text-align: center;">2 単位</p>	〔科目区分〕 <p style="text-align: center;">教職課程(必修科目)</p>																					
〔担当者〕 <p style="text-align: center;">西村 吉弘</p>	〔オフィス・アワー〕 時間: 事前に、アポを取ること。 場所: 619 研究室	〔授業の方法〕 <p style="text-align: center;">講義及び演習</p>																					
〔科目の概要〕 <p>教職コアカリキュラムに準拠し、基本的な教育行政の仕組みを理解し、今日の学校教育が規定されている要因について学ぶ。そして、制度的な側面における今日的な課題を理解する。</p> <p>また、教育行政・制度の原理と諸概念、教育法規や教育財政制度、学校経営・管理、カリキュラム行政、等について広く概観し、理解を深め、現代の教育問題やこれからの教育のあり方についても考えていく。</p>																							
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 <p>日本は、法治国家であり、様々な教育政策や教育行政を推進するに際し、該当する根拠法を学ぶ必要がある。また、それらが基盤となり、教育行政の枠組みが整備されている。</p> <p>このような、広範なスケールで教育の枠組みを捉えることは、学校現場で教師として関わる上でも、視野の広がりや公教育への意識を高めるものである。</p>																							
〔科目の到達目標〕 <p>近年の教育政策の動向を理解し、教育実践のための基礎的な力を獲得する。そして、学校と地域の連携や学校安全への対応も含む、幅広い見識を身につける。また、知識の修得と共に、それを活用し口頭発表や論述においてアウトプットできる力を獲得する。</p>																							
〔ディプロマ・ポリシー (DP) との関係〕 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="4">学部</th> <th colspan="3">学科</th> </tr> <tr> <th>DP1</th> <th>DP2</th> <th>DP3</th> <th>DP4</th> <th>DP1</th> <th>DP2</th> <th>DP3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			学部				学科			DP1	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3	○	○	○	○			
学部				学科																			
DP1	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3																	
○	○	○	○																				
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 <p>特筆すべきものがあれば、適宜紹介する。</p>																							
〔教科書〕 <p>横井敏郎 編著『教育行政学 第5版－子ども・若者の未来を拓く』八千代出版(2024)</p>																							
〔指定図書〕 <p>必要に応じて、授業中に案内する。</p>																							
〔参考書〕 <p>必要に応じて、授業中に案内する。</p>																							
〔前提科目〕 <p>関連する、各教職科目を履修しておくこと。</p>																							
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) <p>基本的に、期末試験とレポートで判断する。尚、授業態度や授業時に指示する課題の取り組み方が芳しくない場合、期末試験・レポートの合計点から減点することがある。提出されたレポートの結果や傾向については、授業内で解説を行う。</p> <p>評価基準の割合:期末試験 80 点、レポート 15 点。平常点5点。</p>																							
〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕 <p>予習、復習を丁寧に行うこと。特に、復習に時間を割き、知識を体系的に捉えられるようにする。</p>																							

〔実務経歴〕	
該当なし。	
授業スケジュール	
第1回	<p>テーマ(何を学ぶか): 憲法と教育基本法</p> <p>内 容: 日本国憲法の他、教育基本法の制定過程や特徴を学ぶ。</p> <p>教科書・指定図書 横井敏郎 編著『教育行政学 第5版』八千代出版(2024)</p>
第2回	<p>テーマ(何を学ぶか): 文部科学省と教育政策形成</p> <p>内 容: 主に、戦後の社会変化と教育政策形成について学ぶ。また、文部科学省の仕組みについても学ぶ。</p> <p>教科書・指定図書 横井敏郎 編著『教育行政学 第5版』八千代出版(2024)</p>
第3回	<p>テーマ(何を学ぶか): 教育委員会制度</p> <p>内 容: 教育委員会制度の理念と仕組みを学び、改正地教行法以降の制度と課題について見識を深める。</p> <p>教科書・指定図書 横井敏郎 編著『教育行政学 第5版』八千代出版(2024)</p>
第4回	<p>テーマ(何を学ぶか): 学校安全・学校保健安全法の理念や事例を通じた検討</p> <p>内 容: 学校保健安全法の基本的な枠組みを学習し、学校現場における安全管理の重要性について見識を深める。</p> <p>教科書・指定図書 横井敏郎 編著『教育行政学 第5版』八千代出版(2024)</p>
第5回	<p>テーマ(何を学ぶか): 教育課程と学習指導要領</p> <p>内 容: 教育課程行政と学習指導要領の関係性について学び、その変遷と特色について理解を深める。</p> <p>教科書・指定図書 横井敏郎 編著『教育行政学 第5版』八千代出版(2024)</p>
第6回	<p>テーマ(何を学ぶか): 日本の公教育制度</p> <p>内 容: 教育を受ける権利と、公教育制度の関係について学ぶ。また、特別支援教育制度や不登校問題についても扱い、理解を深める。</p> <p>教科書・指定図書 横井敏郎 編著『教育行政学 第5版』八千代出版(2024)</p>
第7回	<p>テーマ(何を学ぶか): 学校組織と学校経営</p> <p>内 容: 学校の組織と経営について学び、自律的学校経営の推進による成果と課題について理解を深める。また、開かれた学校づくりと、保護者との関係性の変化についても検討する。</p> <p>教科書・指定図書 横井敏郎 編著『教育行政学 第5版』八千代出版(2024)</p>
第8回	<p>テーマ(何を学ぶか): 教育行政における合意形成の在り方について</p> <p>内 容: 多様な価値観を持つ集団において、合意形成を育むことは容易ではない。これらの意見を集約し合意形成に向けた取り組みを、演習を通して学ぶ。</p> <p>教科書・指定図書 横井敏郎 編著『教育行政学 第5版』八千代出版(2024)</p>

第9回	<p>テーマ(何を学ぶか):教職員制度と教員の仕事①</p> <p>内 容:教員免許の取得と、教員養成・研修について、一体的に学ぶ。また、教員評価制度について学習し、教職員の人事管理や労働についても学習する。</p> <p>教科書・指定図書 横井敏郎 編著『教育行政学 第5版』八千代出版(2024)</p>
第10回	<p>テーマ(何を学ぶか):教職員制度と教員の仕事②</p> <p>内 容:前回までに学習した教員人事管理について深く掘り下げ、教員評価制度の具体的な内容に関し、調べ学習を通して理解を深める。</p> <p>教科書・指定図書 横井敏郎 編著『教育行政学 第5版』八千代出版(2024)</p>
第11回	<p>テーマ(何を学ぶか):学校を支える教職員と施設、社会教育の理念</p> <p>内 容:教諭以外の、学校事務職員、養護教諭、司書教諭、学校司書を取り上げ、それぞれの学校教育における役割を概観する。そのうえで、チームとしての学校の理念と重要性を検討する。</p> <p>教科書・指定図書 横井敏郎 編著『教育行政学 第5版』八千代出版(2024)</p>
第12回	<p>テーマ(何を学ぶか):生涯学習政策と社会教育</p> <p>内 容:生涯学習政策の変遷を概観し、アンドラゴジーの重要性について学習する。そして、これらを通して、現在進められている学校と地域の連携・協働活動の取り組みや実践の理解を深める。</p> <p>教科書・指定図書 横井敏郎 編著『教育行政学 第5版』八千代出版(2024)</p>
第13回	<p>テーマ(何を学ぶか):子どもの権利条約と学校の課題①</p> <p>内 容:子どもの権利条約に関する、成立・締約状況・理念について学ぶ。また、子どもの権利侵害としてのいじめ問題についても掘り下げて検討する。</p> <p>教科書・指定図書 横井敏郎 編著『教育行政学 第5版』八千代出版(2024)</p>
第14回	<p>テーマ(何を学ぶか):子どもの権利条約と学校の課題②</p> <p>内 容:子どもの権利条約の実際の条文を読み、これらの理念の解釈や学校現場への応用可能性等について、演習を通して学習する。</p> <p>教科書・指定図書 横井敏郎 編著『教育行政学 第5版』八千代出版(2024)</p>
第15回	<p>テーマ(何を学ぶか):まとめ リフレクションを踏まえて</p> <p>内 容:これまでの学習内容について、授業全般をふり返る。そして、半期の学習を通して、教育政策や教育行政の重要性と今日的課題について考えをまとめる。</p> <p>教科書・指定図書 横井敏郎 編著『教育行政学 第5版』八千代出版(2024)</p>
試験	<p>期末テスト:筆記試験の実施。</p>